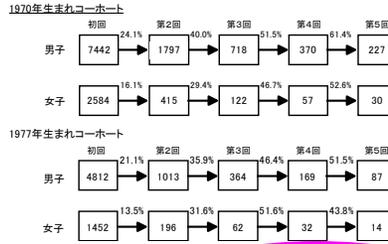
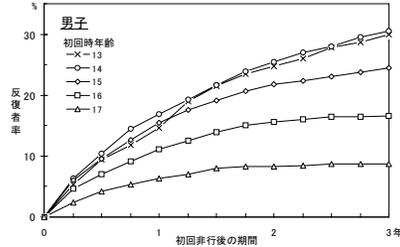


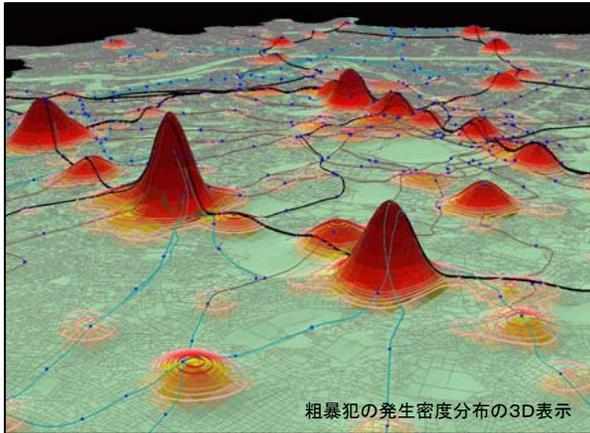
犯罪行動科学の手法による犯罪防止・捜査支援技術の高度化

犯罪・非行経歴分析に基づく、時宜を得た立ち直り支援



科学的根拠に基づく
犯罪対策の促進

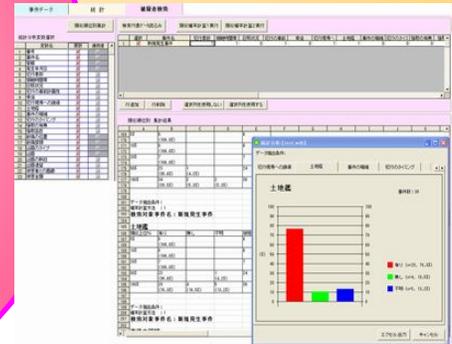
犯罪者の再犯リスクアセスメント
技術の開発、犯罪対策の効果分
析技術の確立、犯罪者プロファイ
リング技術の標準化等



犯罪・非行
経歴データベース
の構築

GISを活用し
た犯罪情勢
分析技術の
高度化

犯罪者プロ
ファイリング
の精度の向
上



犯罪情勢分析に基づく、的
を絞った集中的防犯対策

第3期基本計画期間中の
研究開発目標

犯罪者プロファイリング
による、初動捜査の支援

要素技術:

データベース技術
統計解析・
数理モデリング

空間情報科学・
GIS・GPS・
リモートセンシング

自然言語処理・
テキストマイニング



人間行動に関する経験科学:

- ・心理学
- ・教育学
- ・社会学
- ・社会心理学

3次元顔画像を用いた個人識別の高度化に関する研究

3D顔画像データを用いることの利点：

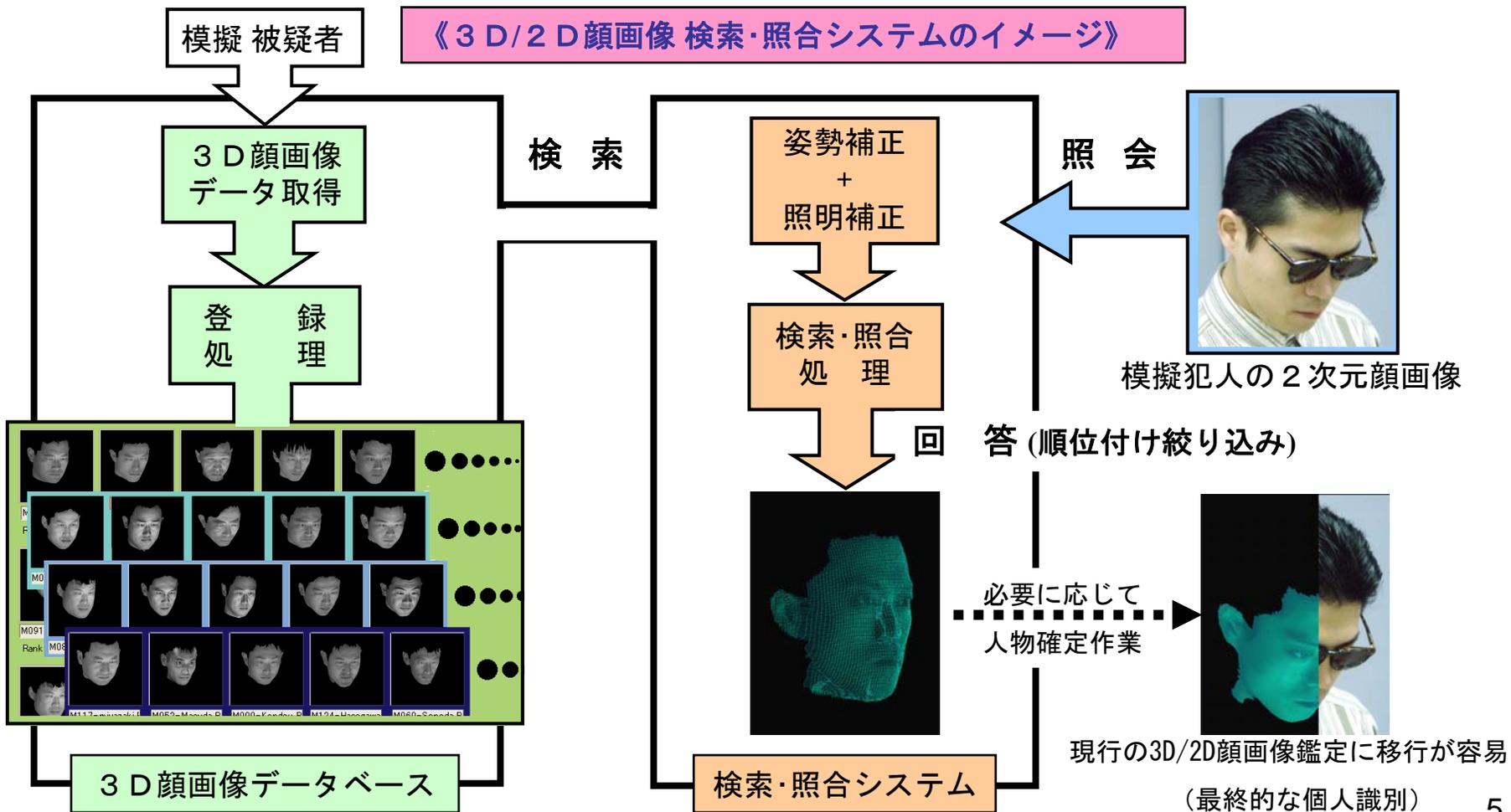
- ・ 様々な顔向きを示す犯人顔画像に対応可能！
- ・ 犯罪現場の照明条件を再現できる優位性！
- ・ 実測値による客観的な計測評価が可能！
- ・ 犯人 対 被疑者の3D鑑定への迅速な移行が可能！

3D顔画像データの利点を活用すれば・・・

3D顔画像データベースを用いた犯人顔貌の
自動検索・照合システムの構築が期待できる

※ 照合対象の2D顔画像と、同等の撮影条件(顔向き・照明)を導き出し、
精緻な検索・照合評価が可能となる。

《3D/2D顔画像 検索・照合システムのイメージ》



■ DNA型分析による高度プロファイリングシステムの開発

DNA型 識別マーカー

D3S1358
vWA
FGA
TH01
TPOX
CSF1PO
D5S818
D13S317
D7S820

9 部位

左記9部位
+



D8S1179
D21S11
D16S539
D2S1338
D19S433
D18S51

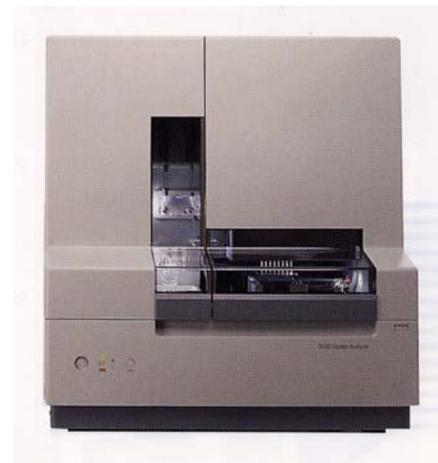
15部位

約60%の増加

DNA型 データベース収集



現行のDNA型
検出装置



DNA型大規模検出装置

約20%の時間短縮